

フクシマ発



あらすじ

演出・鈴木龍男 原案・脚本・製作・出演：澤田修 協力：薄宗雄、喜多方シティ FM、細川佳那枝

福島県民ラジオでは東日本大震災後、毎週「あの時、私は・・・」という定時番組を放送し、震災をふりかえる事と震災以後でもがんばっている人たちを登場させて、震災及び原発事故を風化させない様に番組を制作しています。今日は番組はじまって以来の公開放送・・・。

ラジオ局のアナウンサーと福島新聞社中村三郎記者のやり取りから、日本の社会が持っている様々な矛盾をすべてさらけだしてしまった福島の現状を伝えます。

講演会ではない。芝居でもない。役者でない人間だからこそ伝わるものをお聞きください

●制作にあたって

2011年3月11日14時46分東日本大震災発生。青森県から千葉県にかけての沿岸部は巨大津波が集落を襲い、死者、行方不明者は約2万人にも達しました。特に岩手県、宮城県、福島県に甚大な被害をもたらしました。福島県では地震、津波の被害に加えて東京電力福島原子力発電所の水素爆発により、放射能雲が全县を覆い、森林や田畑や河川だけでなく、家畜やペット、県民も大量の被曝をしてしまいました。

家族を失い、職を失い、自宅を失い、尚かつ故郷を失うという絶望感を味わっております。また子ども達の健康被害は深刻です。基幹産業の農業・漁業・観光業も窮地におこまれています。風評被害は中々、復興をすんなりと進めてはくれません。”福島”という言葉にある種の差別感を発生させました。

日本の社会が持っている様々な矛盾を全てさらけ出してしまった福島の現状を知ることは、全国各地に住んでいる全ての人たちにとってとても大事な事だと思っています。なぜなら人間が生きていく上でとても大事なこと、本質的な問題を含んでいるからです。福島県に存在する劇団として、今の福島の現状を全国に発信したいと思っています。

—団体紹介—

劇団風の子東北は1993年から福島県喜多方市に拠点を置き、主に東北地方、新潟県を中心に小形作品で小学校や幼稚園、保育園、子ども劇場での公演活動を展開してきました。山と緑に囲まれた自然豊かな土地で作品作りの素材や魅力あふれる人たちの力を借りて地域色豊かな作品を創り続けています。

劇団風の子東北

〒966-0097

福島県喜多方市字通舟場19番地 (喜多方シティ FM内)

TEL 090-6680-8120 FAX 0241-21-1770

(FM きたかた気付)